


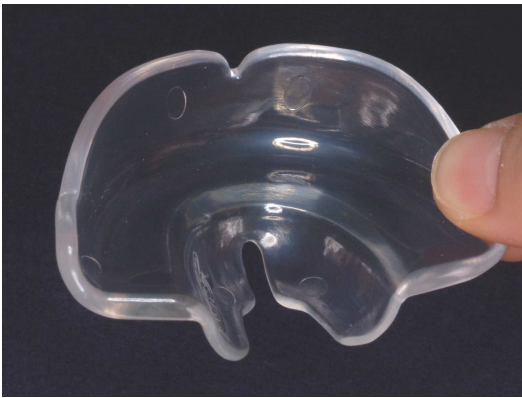
はは歯クラブだより



こんにちは！  医療法人
ゆきなり小児・矯正歯科 です。

NO.16

今回は、『かみ合わせが逆、反対咬合』について少しお話します。



下の歯が上の歯より前に出ている受け口（反対咬合）のお子さんは3歳児健診で4～5%の割合で見つかります。「適切な時期に、短期間で治療する」のが理想ですが、本人の成長が深くかかっており、矯正治療が長期にわたることもあります。治療を始める時期が遅くなると、反対咬合の程

度がひどくなる傾向もあります。以前はこの時期に効果的な矯正装置はありませんでしたが、就寝時のみの使用で、目的を達成することが可能な既製品の矯正装置（ムーシールド）ができました。1年間をめどに使って頂きます。また、その後は、定期的に健診を継続していく事が重要です。ムーシールドは本人が積極的に使用しないと、効果は望めませんし、永久歯が生えて矯正治療が必要になる場合も、もちろんあります。しかし、効果が現れない場合でも反対咬合の原因の一つでもある舌の位置の異常を改善することもできますので、無駄にはなりません。

（日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘）

詳しくは、ホームページをご覧ください。
「ゆきなり」で検索すると簡単です。